

# この瞬間に地震が起きたら… 適切な行動で命を守る!

「平成」は私たちが過去に経験をしたことのない、大きな災害が発生した時代でした。特にここ数年は続けて大規模災害が起こっています。そのなかでトラック輸送は、国民の暮らしと経済を守り、復旧・復興に大きな役割を果たしてきました。そこで今回は、被災地へ救援物資を迅速に送り届けてきたトラック輸送の実績と、万が一輸送中に地震に遭遇した際の行動について紹介していきます。



1995年1月 阪神・淡路大震災

## トラック輸送は暮らしと経済を支える「ライフライン」

8年前、2011年3月11日に発生した「東日本大震災」は、マグニチュード9.0という世界最大級の地震エネルギーを観測するとともに、巨大な津波が太平洋沿岸を襲い、未曾有の大惨事となりました。運送業界では、発災直後から業界一体となり被災地への救援物資の緊急輸送を実施。全日本トラック協会の手配で出動した緊急車両は、延べ2,032地点(避難所・一時集積所)に対して1,925台(5月9日までの59日間)。一方、地方公共団体の要請による各都道府県トラック協会の手配車両は、8,702台(6月30日まで)にのぼり

ました。また16年4月の「平成28年熊本地震」や昨年の「平成30年7月豪雨」でも、トラックがその機動力を活かして支援物資の緊急輸送を行いました。

このように運送業界では、自然災害などの緊急時に国や地方自治体が運送事業者などと連携し、街の復旧に向けた活動を迅速に実施。中でもトラック輸送は、暮らしと経済を支える「ライフライン＝命綱」であり、自然災害などの際に重要な役割を果たしているのです。

出典：公益社団法人 全日本トラック協会「日本のトラック輸送産業 現状と課題2018」  
「東日本大震災における緊急支援物資輸送活動の記録[概要版]-平成25年9月-」

## もし運転中に地震に遭遇したら… 二次災害を防ぐ適切な行動を!

地震がいつどこで発生するのか、それは誰にもわかりません。もし運転中に地震に遭遇した際、ドライバーが適切な行動をとらなければ、トラックが要因となる二次災害が発生する恐れがあります。ドライバーの皆さんは、地震に遭った際にとるべき以下の行動を参考にしながら、「万一」に備えてください。

### 運転中に地震に遭った場合の行動

発生時	一般道では… <b>即、車を止める!</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衝突や、追突が起きないように十分に注意をしながら、交差点を避けて道路の左側に車を停車。</li> <li>落下物によりケガをする危険性があるので、不用意に外に飛び出さない。</li> <li>避難する人たちが緊急自動車が通行できるよう、道路の中央部は必ず空けておく。</li> <li>近くにいる人たちと協力し、負傷者がいればその救助や、道路中央部に停車している車両を道路の左側に寄せる。</li> </ul>
	高速道では… <b>急ブレーキは避ける!</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高速道では急ブレーキも危険。徐々に減速して停車し、その後は一般道と同様、左側に寄せて停車する。</li> <li>高架部から避難する場合は、近くのランプが非常用階段を利用する。</li> </ul>
	短い橋やトンネルでは <b>注意して通過する!</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>短い橋やトンネルを走行中に地震が発生したら、注意して通過する。また長い場合は左側に停車して、一刻も早く橋やトンネル外に避難する。</li> </ul>

発生後	状況をよく見て <b>落ち着いて行動する!</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の判断で勝手に行動せずに、カーラジオの地震情報や警察官の指示に従う。</li> <li>道路の左端に車両を止め、火災を引き込まないように窓を閉める。</li> <li>「エンジンキーはつけたままドアロックはしない」で車両から離れる。</li> <li>海岸付近で津波の恐れがある場合は即刻、高台に避難する。</li> </ul>
	避難などの目的に <b>車両を使用しない!</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急自動車の交通の妨げなどにならないよう、家庭との連絡や避難などのために車両を使用しない。</li> </ul>
	<b>会社に連絡をして指示を受ける!</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震後の行動について、自分で判断がつかない場合は、会社に連絡し指示を受ける。連絡手段として、災害に強いとされている業務用無線などを準備しておくが良い。</li> </ul>

出典：公益社団法人 全日本トラック協会「改訂版 防災手帳-災害に備えて-」  
一般社団法人 石川県トラック協会「災害マニュアルトラック運送業者の「防災対策」の手引き」